



あつまれ！戸馳っ子！ ひとことインタビュー

豊田善大君（小4）

戸馳小のいいところは花がいっぱいあって、のびのびと遊べるところです。

神崎愛菜さん（小4）

戸馳小は、校舎がきれいで、先生がやさしいので、勉強が楽しくて、友達もたくさんいます。

谷口智也君（小4）

植森綾平君（小4）

戸馳小がなくなるのは寂しいよ～

松川 望さん（小4）

三角小に行っても習字やミニバスケットボールの友達がいるから大丈夫だよ。

卒業を迎えた6年生のみんな

宇城市立戸馳小学校の歴史

明治7年 興津七郎先生が10大区第8区戸馳小学校を開校
昭和16年 熊本県宇土郡戸馳国民学校と改称
昭和22年 宇土郡戸馳村立戸馳小学校と改称
昭和30年 町村合併により三角町立戸馳小学校と改称
昭和32年 現在地に木造新校舎完成
昭和48年 戸馳大橋開通
昭和48年 熊本県算大会優勝
昭和60年 熊本県健康優良校表彰受賞
昭和62年 全国ミニバスケット大会出場
平成2年 ミニバスケット九州大会出場
平成3年 全国ミニバスケット大会決勝トーナメント出場
平成7年 全国ミニバスケット大会決勝トーナメント出場
平成13年 全国花いっぱいコンクール地区審査優秀賞受賞
平成17年 町村合併により宇城市立戸馳小学校と改称

さようなら、そして
ありがとう戸馳小学校



戸馳小玄関前に建てられた記念碑には「このころのふるさと 戸馳校」の文字が刻まれています
1874（明治7）年7月の開校以来、131年にわたる多くの卒業生が巣立った学び舎の歴史に終止符が打たれました。
3月6日の宇城市立戸馳小学校（大村悟校長）の開校式には、在校生をはじめ、卒業生、地域の住民など関係者約400人が出席。9時30分から同校玄関前で記念碑除幕式が行われ、引き続き体育館で閉校式典が挙行了されました。阿曾田清市長が「4月から児童の皆さんは2台のスクールバスで三角小学校に通うことになり、慣れないバス通学で苦労されると思いますが、楽しさも多くあることと思います。戸馳小学校の校歌の一節にあるように『心は清く、体は強く』して自分の信じる道をしっかりと歩んでほしいと願っています」と式辞。
閉校実行委員会の天川幸彦委員長や大村校長らが、珠算やミニバスケットボール部の活躍、統合に至るまでの経緯を語ると、戸馳小の数々の出来事を思い返すように、うなずく人々の姿が見られました。



出席者全員で別れを惜しみながらの校歌斉唱

宇城市立戸馳小学校閉校式

130年余の歴史に幕

そして児童代表の神崎愛梨さん（6年）が「戸馳小学校でつくった思い出は忘れることができません」とあいさつ。式の最後には出席者全員が大きな声で校歌を歌い、思い出深い戸馳小との別れを惜しまれました。



会場をわかせた 児童らのカルタと寸劇

お別れ会では児童らが群読と劇による「戸馳の宝」を発表。戸馳島の伝統行事や特産品を紹介した「島おこし立て看板」を、カルタと寸劇にアレンジして、ユニークな句と劇で紹介すると、会場は笑いの渦に巻き込まれ、式典の厳粛な雰囲気は一転して明るくなりました。

同窓会ムードで 盛り上がった謝恩会

その後、立食パーティーでの謝恩会。同校卒業生でアテナパラリンピックの銅メダリスト天川敬二選手からの祝電が披露された後、婦人会をはじめとする9組が歌と踊りで会に花を添えました。パーティーには中高生の姿も多く見られ、久しぶりに再会した恩師と談笑したり、郷



大いに盛り上がったカルタ取り（写真上）と寸劇（写真右）



卒業生や地域住民などを招いて行われた閉校式には約400人が出席。謝恩会では久々の再会に話が弾んでいました